

食品安全委員会の3月の運営について（報告）

1. 食品安全委員会の開催

第180回 3月1日（木）

- ・食品健康影響評価の要請の取下げ（遺伝子組換え食品等2品目 「BRG-1（-アミラーゼ）」及び「マルチフェクト キシラナーゼ（キシラナーゼ）」について厚生労働省から説明。
- ・農薬専門調査会における審議状況について報告（「フェンブコナゾール」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品安全委員会の2月の運営について報告
- ・食品安全モニターからの報告（平成19年1月分）について報告

第181回 3月8日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（農薬28品目 「シエノピラフェン」₁ 「レピメクチン」₂ 「ピラフルフェンエチル」₃ 「プロパルギット」₄ 「アメトリン」₅ 「アラクロール」₆ 「イミベンコナゾール」₇ 「エトキサゾール」₈ 「エトフメセート」₉ 「オキサジクロメホン」₁₀ 「カルボキシ」₁₁ 「キザロホップエチル」₁₂ 「クロマフェノジド」₁₃ 「クロメプロップ」₁₄ 「チアジニル」₁₅ 「チジアズロン」₁₆ 「テブフェノジド」₁₇ 「トリチコナゾール」₁₈ 「ハロスルフロンメチル」₁₉ 「ピリフタリド」₂₀ ⑲「フルアクリピリム」₂₁ ⑳「ヘキサジノン」₂₂ ㉑「ベンゾビシクロン」₂₃ ㉒「イミダクロプリド」₂₄ ㉓「ウニコナゾールP」₂₅ ㉔「フルアジナム」₂₆ ㉕「テブコナゾール」及び ㉖「トルフェンピラド」₂₇ ～ ㉗までポジティブリスト制度関連）について厚生労働省から説明
- ・食品健康影響評価の要請（飼料添加物及び動物用医薬品3品目 「コリスチン」₁ 「ナラシン」₂ 及び 「モネンシン」₃ 全てポジティブリスト制度関連）について厚生労働省から説明
- ・食品健康影響評価の要請（動物用医薬品8品目 「イソオイゲノール」₁ 「イソシンコメロン酸ニプロピル」₂ 「クラブラン酸」₃ 「ケトプロフェン」₄ 「ジシクラニル」₅ 「ピペラジン」₆ 「ベンゾカイン」₇ 及び 「メベンダゾール」₈ 全てポジティブリスト制度関連）について厚生労働省から説明
- ・動物用医薬品専門調査会における審議状況について報告（「ニトロフラン類」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品健康影響評価（「乳及び乳製品の成分規格等に関する省令の改正（ポリエチレンテレフタレート追加）」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）

- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成19年2月分）について報告

第182回 3月15日（木）

- ・動物用医薬品専門調査会における審議状況について報告（「トルトラズリル」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品健康影響評価（清涼飲料水に係る化学物質9品目 「四塩化炭素」 「1,4-ジオキサン」 「1,1-ジクロロエチレン」 「シス-1,2-ジクロロエチレン」 「トランス-1,2-ジクロロエチレン」 「塩素酸」 「ジクロロアセトニトリル」 「抱水クロラール」及び「塩素（残留塩素）」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（「水道水（塩素酸）」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（飼料添加物3品目 「グルコン酸カルシウム」 「ニギ酸カリウム」及び「ギ酸カルシウム」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣及び農林水産大臣に通知）
- ・食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価について検討（「食品への放射線照射に関する食品健康影響評価」については、自ら評価を行わないが、引き続き、情報収集に努めることを決定）

第183回 3月22日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（添加物3品目 「ソルビン酸Ca」 「香料バレラルデヒド」及び「香料イソバレラルデヒド」）について厚生労働省から説明
- ・食品健康影響評価の要請（動物用医薬品5品目 「スルファチアゾール」 「イミドカルブ」 「クロルスロン」 「スルファジメトキシ」及び「スルファモノメトキシ」 全てポジティブリスト制度関連）について厚生労働省から説明
- ・食品健康影響評価の要請（飼料添加物/動物用医薬品「アボパルシン」 ポジティブリスト制度関連）について厚生労働省から説明
- ・農薬専門調査会における審議状況について報告（農薬3品目 「ジクロトホス」 「シニドンエチル」及び「ビフェントリン」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・動物用医薬品専門調査会における審議状況について報告（動物用医薬品3品目 「リン酸チルミコシン液を有効成分とする牛の経口投与剤（ミコラル経口液、経口用ミコラル）」 「トリニューモウイルス感染症生ワクチン（ネモバック）」及び「豚丹毒（酢酸トコフェロールアジュバント加）不活化ワクチン（ポーシリスERY、ポーシリスERY「IV」）」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品健康影響評価（添加物「ブタナール」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（農薬「クロルピリホス」について検討し、同日付けで食品健

康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知)

- ・食品健康影響評価(動物用医薬品3品目 「メロキシカムを有効成分とする牛の注射剤(メタカム2%注射液)」、「鳥インフルエンザ(油性アジュバント加)不活化ワクチン(鳥インフルエンザ不活化ワクチン「北研」)及び 「豚パルボウイルス感染症・豚丹毒・豚レプトスピラ病(イクテロヘモラジー・カニコーラ・グリッポチフォーサ・ハージョ・ブラティスラーバ・ポモナ)混合(アジュバント・油性アジュバント加)不活化ワクチン(ファローシュアプラス B)」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を については厚生労働大臣に、及び については厚生労働大臣及び農林水産大臣に通知)
- ・飼料中の残留農薬基準を設定した食品健康影響評価依頼予定物質(平成19年度)について農林水産省から報告
- ・我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品健康影響評価の実施に関するプリオン専門調査会の見解について説明(食品安全委員会が自ら評価の実施について決定する前に意見交換会を実施することとを決定)

第184回 3月29日(木)

- ・農薬専門調査会及び動物用医薬品専門調査会における審議状況について報告(「ジノテフラン」及び「アミトラズ」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定)
- ・動物用医薬品専門調査会における審議状況について報告(「ジノテフランを有効成分とする動物体に直接適用しない動物用殺虫剤(フラッシュベイト、エコスピーード)」及び「アミトラズを有効成分とするみつばちの寄生虫駆除剤(アピバール)」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定)
- ・新開発食品専門調査会における審議状況について報告(「毎日コツコツふりかけ」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定)
- ・食品健康影響評価(遺伝子組換え食品等2品目 「SPEZYME FREDTM」及び「高リシントウモロコシLY038系統(食品)」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知)
- ・「平成19年度食品安全委員会運営計画」(案)について検討し、一部修正した上で決定
- ・食品安全モニターからの報告(平成19年2月分)について報告
- ・平成19年度食品安全モニターの依頼について報告

2 専門調査会の運営

(1) リスクコミュニケーション専門調査会

第30回 3月20日(火)

- ・三府省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について報告
- ・「効果的な食品安全のリスクコミュニケーションのあり方に関する研究」について座長から報告・説明後、質疑・議論。

- ・今後の調査審議について検討（「リスクコミュニケーション専門調査会に当面調査審議を求める事項（平成18年12月14日食品安全委員会決定）」で示された課題（リスクコミュニケーションの検証、審議の経過に関する透明性の確保と情報提供のあり方、地方自治体との協力、諸外国との連携、食育）に優先順位を付け、課題ごとに討議していくことを了承）

（２）緊急時対応専門調査会

第21回 3月12日（月）

- ・緊急時対応訓練について検討（第3回訓練（個別要素訓練）（平成19年2月9日実施）平成18年度食品安全委員会緊急時対応訓練及び食品安全委員会における緊急時対応訓練の在り方について検討）
- ・緊急事態への対処体制の強化方策について検討

（３）添加物専門調査会

第42回 3月23日（金）

- ・「ポリソルベート類（ポリソルベート20、同60、同65及び同80）」、「ケイ酸塩類（ケイ酸カルシウム及びケイ酸マグネシウム）」及び「L-アスコルビン酸カルシウム」について検討し、
に
関して国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

（４）農薬専門調査会

第3回 確認評価第二部会 3月2日（金）

- ・キノキシフェン及びテブコナゾールについて検討し、及び
に
関し一部修正の上、幹事会に報告することを決定

第12回 幹事会 3月7日（水）

- ・ジクロトホス、シニドンエチル及びビフェントリンについて検討し、及び
に
関しては一部修正の上、それぞれ国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第9回 総合評価第一部会 3月7日（水） 非公開

- ・スピロメシフェン及び1-メチルシクロプロペンについて検討し、
に
関し一部修正の上、幹事会に報告することを決定

第13回 幹事会 3月14日（水）

- ・イミダクロプリド、ウニコナゾールP及びトルフェンピラドについて検討し、
に
関しては一部修正の上、それぞれ国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第3回 確認評価第三部会 3月14日（水） 非公開

- ・ フルリドン及び ニトラピリンについて検討し、及び に関し一部修正の上、幹事会に報告することを決定

第5回 確認評価第一部会 3月26日(月)

- ・ シクロエート及び ラクトフェンについて検討した結果、米国の評価内容について確認するとともに、及び に関し一部修正の上、幹事会に報告することを決定

第14回 幹事会 3月28日(水)

- ・ スピロメシフェン、フェンヘキサミド及び メタアルデヒドについて検討し、全てに関し一部修正の上、それぞれ国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(5) 動物用医薬品専門調査会

第70回 3月13日(火)

- ・ トリニューモウイルス感染症生ワクチン(ネモバック)、豚丹毒(酢酸トコフェロールアジュバント加)不活化ワクチン(ポーシリスERY、ポーシリスERY「IV」)、リン酸チルミコシン液を有効成分とする牛の経口投与剤、パロモマイシン、カナマイシン、ベンジルペニシリン及びエチプロストンについて検討し、 に関しては一部修正の上、それぞれ国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第71回 3月13日(火) 非公開

- ・ マルボフロキサシンを有効成分とする牛及び豚の注射剤(マルボシル2%、同10%)及びフロロコール100注射液、フロロコール200注射液及びフロルフェニコールを有効成分とする牛の注射剤(ニューフロール)について検討し、 に関して一部修正の上、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第72回 3月23日(金) 第22回微生物専門調査会及び第22回肥料・飼料等専門調査会と合同で開催

- ・ 家畜等への抗菌性物質(フルオロキノロン)の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響評価について検討

(6) 微生物専門調査会

第21回 3月8日(木) 第14回ウイルス専門調査会と合同で開催

- ・ 米国における微生物リスク評価に関する講演(ロバート・ブキャナン米国食品医薬品局食品安全応用栄養センター(FDA/CFSAN)シニアサイエンスアドバイザー)による、微生物のリスク評価を例にして、これまでの経験を踏まえた米国における食品のリスク評価とリスク管理システムの概要及びリスク評価の進め

方等についての講演を行った後に、質疑応答を実施)

第22回 3月23日(金) 第72回動物用医薬品専門調査会及び第22回肥料・飼料等専門調査会と合同で開催

- ・家畜等への抗菌性物質(フルオロキノロン)の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響評価について検討

(7) ウイルス専門調査会 第21回微生物専門調査会と合同で開催

第14回 3月8日(木)

- ・米国における微生物リスク評価に関する講演(ロバート・ブキャナン米国食品医薬品局食品安全応用栄養センター(FDA/CFSAN)シニアサイエンスアドバイザー)による、微生物のリスク評価を例にして、これまでの経験を踏まえた米国における食品のリスク評価とリスク管理システムの概要及びリスク評価の進め方等についての講演を行った後に、質疑応答を実施)

(8) プリオン専門調査会

第43回 3月14日(水)

- ・食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価について検討(専門委員から寄せられたコメントを踏まえ修正した「我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品健康影響評価の実施に関するプリオン専門調査会の見解案」について審議し、見解案を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを了承)

(9) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第46回 3月9日(金) 非公開

- ・チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統(食品)及び除草剤グリホサート耐性ダイズMON89788系統(食品)について検討

(10) 肥料・飼料等専門調査会

第22回 3月23日(金) 第22回微生物専門調査会及び第72回動物用医薬品専門調査会と合同で開催

- ・家畜等への抗菌性物質(フルオロキノロン)の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響評価について検討

3. 意見交換会等の開催

(1) 意見交換会

3月7日(水) 食品に関するリスクコミュニケーション - 米国における微生物のリスク評価 -

- ・食品安全委員会の主催により、東京都渋谷区にて開催し、食品安全委員会微生物・ウイルス専門調査会の春日文子専門委員から「日本における微生物のリスク評価」

と題し、また、米国食品医薬品庁食品安全・応用栄養センター（FDA/CFSAN）シニアサイエンスアドバイザーのロバート・ブキャナン氏から「FDA/CFSANのリスク評価 - リスク評価リソースの活用について - 」と題して講演を行った後、会場参加者との意見交換を実施

3月19日（月） 食品に関するリスクコミュニケーション EUにおけるリスクコミュニケーション研究の最前線 - EU SAFE FOODS プロジェクトの取組 -

- ・食品安全委員会の主催により、東京都千代田区にて開催し、英国食品研究所消費科学グループ研究員ジュリー・ホートン氏から「食品安全に関する認知ギャップを埋める - EU SAFE FOODS プロジェクトの取組 - 」と題して講演を行った後、パネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

（2）関係団体等との懇談会

3月1日（木） 日本香料工業会と食品安全委員会委員との懇談会（第2回）

- ・日本香料工業会から、香料産業の概要や食品香料の特性、食品香料を取り巻く国際情勢に関する説明の後、国際汎用香料の安全性評価に対する要望が述べられ、香料の評価方法に関する国際的な整合性と効率的な評価について、意見交換を実施。

（3）食品の安全性に関する指導者育成講座

3月2日（金） 北海道札幌市

食品安全委員会、北海道及び（独）農林水産消費技術センター小樽センターの主催で開催し、小泉直子食品安全委員会委員から「食品の安全性と信頼の確保」のテーマで講演を行うとともに、講師の順天堂大学医学部堀口逸子氏から「リスクコミュニケーション」についての講演と演習に用いるゲーミングシミュレーションについての説明の後、参加者がグループに分かれ演習を実施。

4. その他

- ・季刊誌「食品安全 - 共に考えよう、食の科学 - vol. 12」を発刊